

## 戦 評

一財) 北海道バスケットボール協会

大会名	第 71 回全国高等学校バスケットボール選手権大会兼全国高等学校バスケットボール選手権大会北海道予選会		
日 時	2018 年 11 月 4 日 11 時 30 分	会 場	湿原の風アリーナ
<勝ちチーム名> 東海大学付属札幌 高校	69	$\left. \begin{array}{l} 21 - 22 \\ 15 - 14 \\ 12 - 10 \\ 21 - 10 \end{array} \right\}$	56 <負けチーム名> 駒澤大学付属苫小牧 高校
男子 ・ 女子 決 勝			
<p>【1P】スターターは東海#4#5#7#14#15。駒沢#4#5#6#7#8。互いにハーフマンツーマン。序盤、東海#4のブレイクや1on1から得点を重ねる。対する駒沢#6の3P・1on1、#5のポストアップで得点を重ねる。中盤から両チームプレッシャーディフェンスからブレイクと攻守の切り替えの早い展開。東海は#4を起点として、#5の3P・ミドルシュート、#7の得点を重ねる。駒沢は、#6のドライブインや#9のミドルシュートで得点を重ね、東海 21-22 駒澤で終える。</p> <p>【2P】東海は#4#5#7 中心に得点を重ねる。そして、途中出場の#18がインサイドを支配する。駒沢は、#5のポストアップ、#6の1on1・3Pで得点を重ねシーソーゲーム。駒澤は、途中2-3ディフェンスに変え、流れを変え、#8のミドル、#11のリバウンドシュートでリードする。対する東海は駒澤#6へのフェイスDとプレッシャーディフェンスからブレイクを仕掛け、終盤、リズムを掴み#5のミドルシュートで、34-33 と逆転に成功。1分8秒に駒澤が1回目のタイムアウト。その直後、東海#7ポストアップからのシュートで駒澤2回目のタイムアウト。駒澤はスクリーンプレーから#6の3Pブザービートで36-36の同点で前半を終える。</p> <p>【3P】後半スターターは東海#4#5#7#14#18。駒澤#4#5#6#8#9。互いにディフェンスはハーフマンツーマン。序盤、両チーム得点が止まる。中盤、東海#4のブレイク、#5の外角シュート、#7のポストアップで流れを掴む。流れを変えたい駒澤はディフェンスを2-3に変えるが、オフェンスが機能せず苦しみ。東海のブレイクから#5のゴール下シュートで44-38。駒澤、残り時間4分5秒で後半1回目のタイムアウト。タイムアウト直後、駒澤#5の連続インサイドプレー、#13のストップジャンプシュート、そして、フェイスされていた#6がスクリーンでディフェンスをかいくぐり3P。48-46で3Pを終了。</p> <p>【4P】駒澤は外角シュートが決まらず得点が止まる。東海は#7を中心に得点を重ね、#9のブレイクからの得点が決まり55-46。駒澤後半2回目のタイムアウト。その後も東海#9と#18が確実に得点を重ねて61-48となり、残り4分47秒で駒澤3回目のタイムアウト。その後も東海ペースで試合が進み、駒澤残り2分からオールコートマンツーマンプレッシャーを強めるが、流れを変えることができない。インサイドを固め、ブレイクからリズムを掴み一気に突き放した東海が勝利した。</p>			
記録者	大島 琢司	所 属	一財) 北海道バスケットボール協会